



旭川医科大学
看護職キャリア支援センター
令和2年度～3年度 事業報告書



旭川医科大学
看護職キャリア支援センター
Nursing Support Center for Career Development, Education, and Research

巻頭のことば



地域社会の要請に応えられる専門性の向上をめざして

旭川医科大学 医学部看護学科長
看護職キャリア支援センター長
服部 ユカリ

COVID-19 のパンデミックにより、1年半の間に世界中の感染者は1億1800万人以上、死者も260万人以上にのぼり、今なお多くの人の生命・健康・生活が脅かされています。保健医療福祉機関はもとより、大学を含む教育機関や日々の暮らしを支える仕事や芸術活動も大きな影響を受け、これまでに経験したことのない新たな対応が求められる時代になりました。このような時代の変革期に必要とされるのは、状況を的確に判断し行動する一人ひとりの力です。これまでの知識・技術、経験を基盤に新しい事態に対する方策を創造していくことができる力が求められます。その力を養うには、一人ひとりを支える組織的な仕組みが重要です。

看護職キャリア支援センターは、専門性の向上をとおして一人ひとりが備えている能力を伸ばしていくお手伝いをしたいと思います。それは、自分自身のためのみならず、患者さんを含む地域の方々の健康レベルの向上や、誰もが望む安寧な生活へ貢献するためであるといえます。必要なときに必要な場所で適切な医療・看護を受け、‘可能な限り、住み慣れた地域で能力に応じた自立した日常生活を営める’ように当事者の視点に立った看護の能力を向上させることが望まれます。これらの地域社会の要請に応えられる看護職者の育成に力を尽くしたいと思います。

目次

I. 看護職キャリア支援センターの概要

1. 目的	3
2. センター長、副センター長	3
3. 組織構成と構成員	4
4. ロゴマーク	6

II. 事業報告

1. 令和2年度

1) 教育プログラム開発部門	7
2) キャリア支援部門	9
3) 人事交流部門	11
4) 地域看護職支援部門	12

2. 令和3年度

1) 教育プログラム開発部門	13
2) キャリア支援部門	16
3) 人事交流部門	19
4) 地域看護職支援部門	21

I. 看護職キャリア支援センターの概要

1. 目的

旭川医科大学看護職キャリア支援センターは、医学部看護学科と病院看護部が連携・協働のもと、専門職業人としての看護職者のキャリア開発や生涯学習を支援し、看護の質の向上を図ることを目的とし、平成31年3月に設置されました。

「教育プログラム開発部門」「キャリア支援部門」「人事交流部門」「地域看護職支援部門」の4部門で組織され、各部門において、主に、看護教育プログラムの開発・研究・実施・評価・普及、看護学生・看護職・看護教員を対象としたキャリア支援、看護学科と看護部の人事交流、地域保健医療福祉機関との連携及び地域包括ケアシステムの推進を目指します。

入学から卒後、また道北・道東地域で勤務する看護職を対象に、研修会や講義の開催、演習をサポートするなど、大学と病院、さらには地域の保健医療福祉機関との組織横断的な連携・協力を深め、社会のニーズに合わせキャリアに関する継続した支援を行います。

2. センター長、副センター長

センター長



旭川医科大学
医学部看護学科
教授

服部 ユカリ

副センター長



旭川医科大学病院
看護部長

原口 眞紀子

副センター長

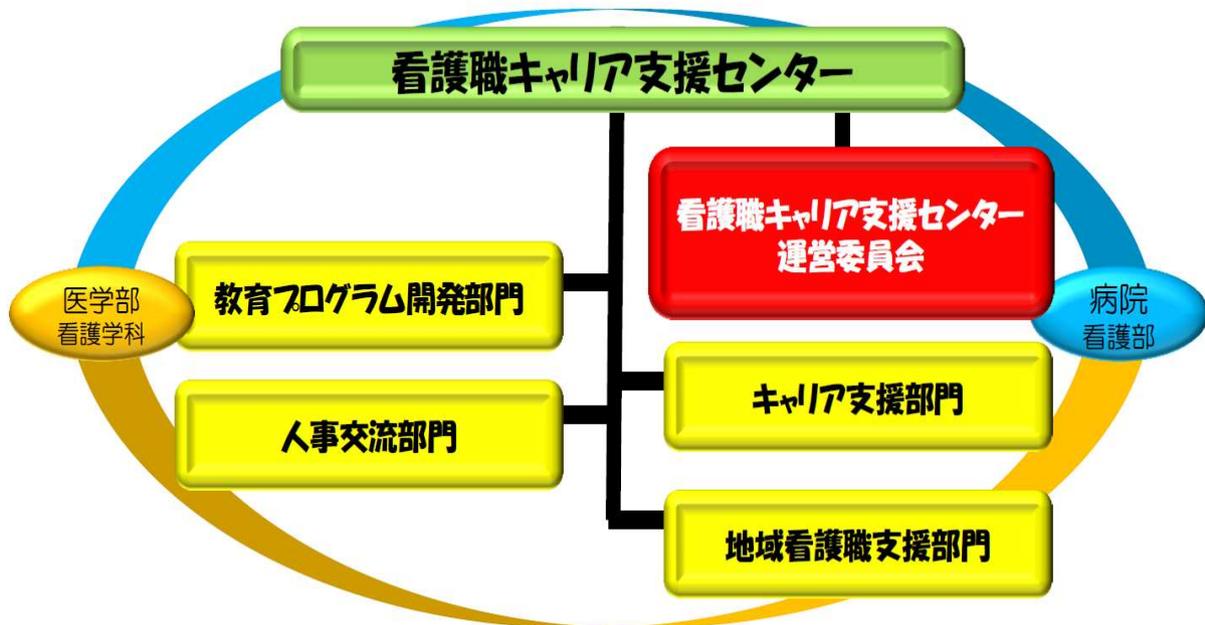


旭川医科大学
医学部看護学科
教授

升田 由美子

3. 組織構成と構成員

1) 組織構成



看護職キャリア支援センター運営委員会

委員会は、看護職キャリア支援センターの運営に関する重要事項を審議する。

教育プログラム開発部門

- ① 基礎教育から継続教育までの切れ目のない看護教育プログラムの開発並びに当該プログラムの研究、実施、評価及び普及に関すること。
- ② 地域包括ケアを担う人材育成プログラムの開発並びに当該プログラムの研究、実施、評価及び普及に関すること。
- ③ 外国人看護師研修プログラムの開発並びに当該プログラムの研究、実施、評価及び普及に関すること。
- ④ その他教育プログラム開発に関すること。

キャリア支援部門

- ① 看護学科学生のキャリア支援に関すること。
- ② 看護職員の生涯学習及びキャリア形成に関すること。
- ③ 看護学科学生及び看護職員の研究支援に関すること。
- ④ その他キャリア支援に関すること。

人事交流部門

- ① 看護学科教員の看護実践力向上に関すること。
- ② 看護職員の教育力向上に関すること。
- ③ その他看護学科と看護部の人事交流に関すること。

地域看護職支援部門

- ① 地域保健医療福祉機関との連携及び相互支援に関すること。
- ② 地域包括ケアシステムの推進に関すること。
- ③ その他地域看護職の支援に関すること。

2) 構成員

(1) 看護職キャリア支援センター

令和4年3月1日現在

役割	所属	職位
看護学科責任者(センター長)	医学部看護学科 (高齢者看護学領域)	学長補佐・教授
看護部長(副センター長)	看護部	看護部長
センター専任の教員	看護職キャリア支援センター	特任教授
センター専任の教員	看護職キャリア支援センター	特任助教
看護学科の教員 (副センター長)	医学部看護学科 (基礎看護学領域)	教授
看護学科の教員	医学部看護学科 (在宅看護学領域)	教授
看護部の看護師	看護部(教育担当)	副看護部長
看護部の看護師	看護部(看護職キャリア支援教育担当)	看護師長
看護部の看護師	看護部(看護職キャリア支援センター)	看護師

(2) 看護職キャリア支援センター運営委員会

役割	所属	職位
センター長	医学部看護学科(高齢者看護学領域)	学長補佐・教授
副センター長	看護部	看護部長
副センター長	医学部看護学科(基礎看護学領域)	教授
看護学科の教員	医学部看護学科(在宅看護学領域)	教授
その他センター長が必要と認めた者	看護職キャリア支援センター	特任教授
看護部の看護師	看護部(教育担当)	副看護部長
看護部の看護師	看護部(看護職キャリア支援教育担当)	看護師長
看護部の看護師(若干名)	看護部(看護職キャリア支援センター)	看護師
その他センター長が必要と認めた者	看護職キャリア支援センター	特任助教
その他センター長が必要と認めた者	事務局会計課	課長
陪席	事務局	次長
陪席	事務局総務課	課長
陪席	事務局人事課	課長
陪席	事務局研究支援課	課長
陪席	事務局経営企画課	課長
陪席	事務局会計課	課長補佐

(3) 教育プログラム開発部門

役割	所属	職位
部門長	医学部看護学科 (基礎看護学領域)	教授
部門員	医学部看護学科(成人看護学領域)	教授
部門員	医学部看護学科(基礎看護学領域)	講師
部門員	医学部看護学科(精神看護学領域)	講師
部門員	看護職キャリア支援センター	特任助教
部門員	看護部(教育担当)	副看護部長
部門員	看護部(看護職キャリア支援教育担当)	看護師長
部門員	腫瘍センター	看護師長
部門員	看護部(看護職キャリア支援センター)	看護師
部門員	事務局会計課	課長補佐

(4) キャリア支援部門

役割	所属	職位
部門長	医学部看護学科（在宅看護学領域）	教授
部門員	医学部看護学科（精神看護学領域）	教授
部門員	医学部看護学科（小児看護学領域）	准教授
部門員	看護職キャリア支援センター	特任助教
部門員	看護部（看護職キャリア支援倫理研究担当）	看護師長
部門員	看護部（職場適応支援担当）	看護師
部門員	看護部（職場適応支援担当）	看護師
部門員	看護部（看護職キャリア支援センター）	看護師
部門員	事務局会計課	課長補佐

(5) 人事交流部門

役割	所属	職位
部門長	看護職キャリア支援センター	特任教授
部門員	医学部看護学科（成人看護学領域）	准教授
部門員	医学部看護学科（高齢者看護学領域）	助教
部門員	看護職キャリア支援センター	特任助教
部門員	看護部（教育担当）	副看護部長
部門員	看護部（看護職キャリア支援センター）	看護師
部門員	事務局会計課	課長補佐

(6) 地域看護職支援部門

役割	所属	職位
部門長	看護部（教育担当）	副看護部長
部門員	医学部看護学科（母性看護学・助産学領域）	教授
部門員	医学部看護学科（公衆衛生看護学領域）	准教授
部門員	医学部看護学科（高齢者看護学領域）	助教
部門員	看護職キャリア支援センター	特任助教
部門員	看護部（入退院センター担当）	副看護部長
部門員	看護部（看護職キャリア支援倫理研究担当）	看護師長
部門員	看護部（職場適応支援担当）	看護師
部門員	看護部（看護職キャリア支援センター）	看護師
部門員	事務局会計課	課長補佐

4. ロゴマーク



信頼・優しさ・癒し・誠実・安心感を表現し、人々を温かく包み込むイメージのロゴマークです。また、看護職の種である学生を育て、看護職として大きな花（力）となり、キャリアを積んで輝く花となる旭川医科大学 看護職キャリア支援センターの目的をイメージしています。

Ⅱ. 事業報告

1. 令和2年度

1) 教育プログラム開発部門

(1) 臨床実習指導者研修プログラムの再構築と実習指導者養成

令和2年 4月	・ 旭川市内の病院、訪問看護事業所、介護老人保健施設に調査した「看護職の実習指導に関わる研究企画」アンケート結果より、実習指導者研修を当大学病院看護部看護職と学外看護職を対象に企画
令和2年 5月	・ COVID-19 感染拡大を受け、当大学病院看護部看護職限定とする
令和2年 7月	・ 実習指導者研修基礎コース第1回 7月18日(土)開催
令和2年 9月	・ 実習指導者研修基礎コース第2回 9月26日(土)開催
令和2年10月	・ 実習指導者研修基礎コース第3回 10月17日(土)開催 ・ 実習指導者研修実践コース 10月27日(火)・28日(水)開催
令和3年 3月	・ 実習指導者研修基礎コース研修者に第1～3回の研修動画を公開

<実習指導者研修実績>

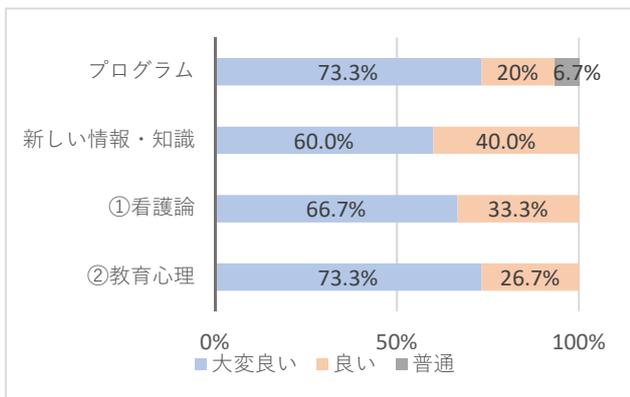
修了者数 基礎コース13名 実践コース4名

<実習指導者研修内容と講師>

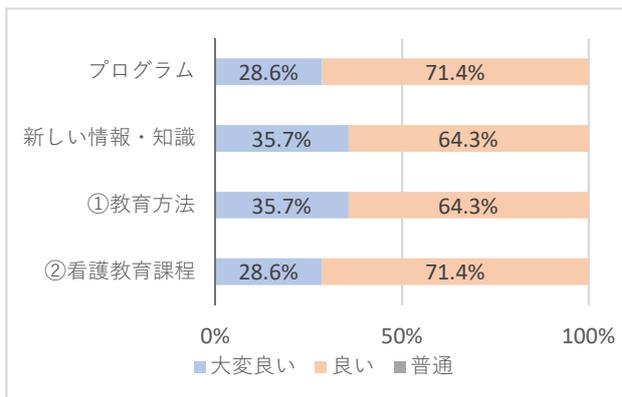
コース名	科目	主な内容	講師名	
基礎コース (講義)	第1回	看護論	看護の概念	升田由美子教授
		教育心理	看護学生の理解と関わり方	
	第2回	教育方法	コミュニケーション	長谷川博亮教授
		看護教育課程	カリキュラムと実習指導の位置づけ	阿部修子教授
	第3回	実習指導の原理	看護基礎教育における実習指導の意義と実習指導方法、指導者と教員の役割	阿部修子教授
		看護過程	看護過程	升田由美子教授
実習指導の評価		評価の意義、カンファレンスの意味		
実践コース	実習指導の実際	実習見学	升田由美子教授 神成陽子講師	

<プログラム・講義のアンケート結果> *各回アンケート回収率100%

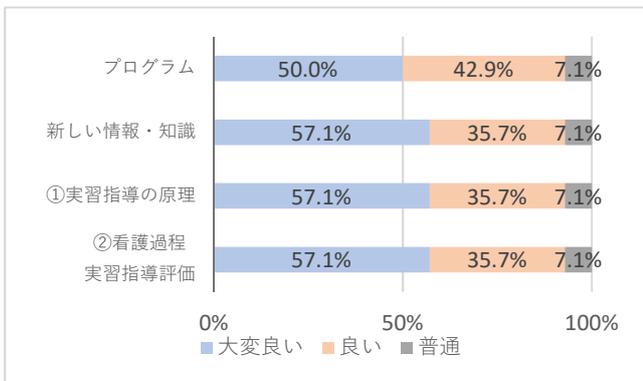
基礎コース第1回



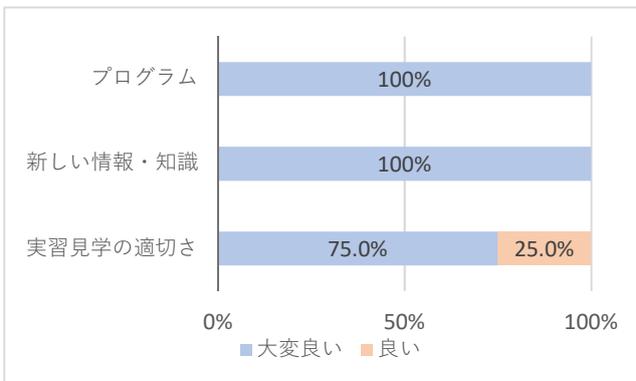
基礎コース第2回



基礎コース第3回



実践コース



基礎コース研修の様子



基礎コース閉講式 修了証授与

(2) 海外人材向け教育プログラム開発

プログラムを検討していたが COVID-19 感染拡大から一旦保留とし、外国人患者に対応できる看護実践能力向上に向けた取り組み「～国際化～外国人患者に対応できる人材育成」へシフトする。

2) キャリア支援部門

(1) キャリア支援に関する研修、学生と看護職のセミナー

令和2年 5月 ・初年次セミナー「看護の世界」(二輪草センター共催) 5月13日(水)

講師 旭川市保健所 池田真由美 保健師
旭川医科大学病院 米澤 里奈 助産師
旭川医科大学病院 森谷 美紀 看護師
対象 看護学科1学年

令和2年 9月 ・キャリアデザインセミナー(当大学病院看護部共催) 9月24日(木)

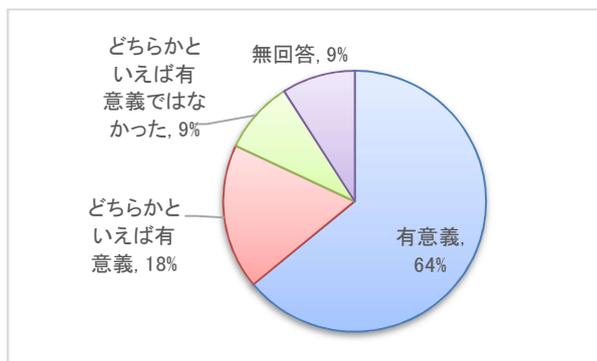


「看護職のキャリアデザイン～自分らしく、
ゆたかに生きる～」

講師 Liezo カウンセリング&コンサルティング
代表 中川 貴美子 氏

対象 看護学科学生、看護学科教員、看護部看護職
参加者数 22名

アンケート結果



* COVID-19 感染対策から人数制限、事前申し込み制とし、ソーシャルディスタンスを確保し開催



令和2年12月

- ・学生と看護職のセミナー（二輪草センター共催）
開催予定であったが COVID-19 感染拡大から次年度へ延期

(2) 看護研究とキャリアに関する相談窓口

令和2年 5月

- ・看護研究とキャリアに関する相談窓口開設
対象 看護学科学生、看護学科教員、看護部看護職



リーフレットを掲示、各部署に配付
看護職キャリア支援センターHPより申し込み可能

<相談対応内容>

- ・看護研究に関する相談
- ・キャリアにまつわる相談
(資格取得・大学院進学など進路相談)
- ・学生の就職相談

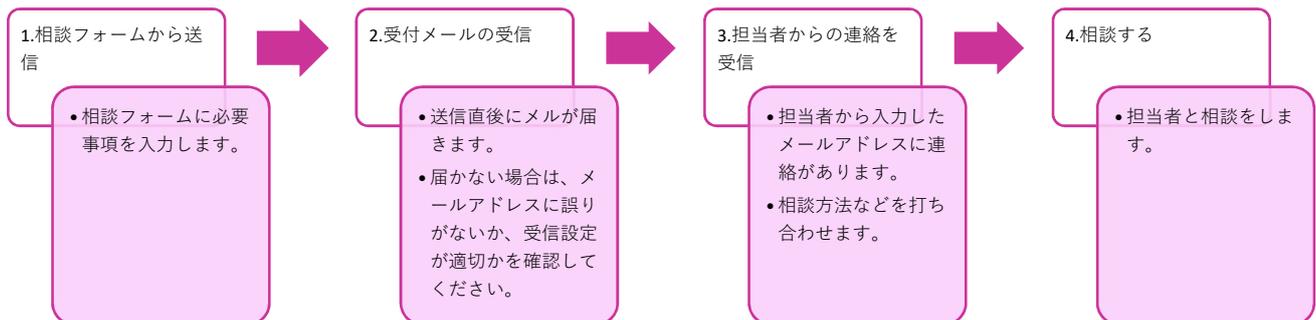
令和2年12月

- ・学生の就職面接相談も相談対応とする

令和3年 2月

- ・当大学大学院医学系研究科 修士課程看護学専攻への進学相談を学外者も対象とする

<相談窓口運用システム>



3) 人事交流部門

(1) 臨床看護師の学内特別講師選出システムの構築

令和2年 4月 | ・令和2年2月から看護学科と看護部の共通システムとして運用を開始し
 ~ | 定期的に評価を実施

<令和2年度 看護部学内特別講師活動実績>

学内特別講師数：168名（学科講師 164名、大学院講師 3名）

学内特別講師による授業科目数：28科目（学科25科目、大学院3科目）

(2) 教育人事交流～看護学科教員と看護部看護職の看護実践力・教育力向上システムの構築～

令和2年 4月 | ・「看護学科教員と看護部看護職の教育人事交流」を兼務（勤務形態）から
 ~ | 開始することとし、運用を検討する

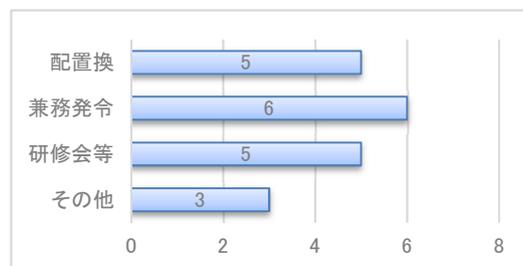
令和2年 7月 | ・国公立大学における大学（保健学科・看護学科）と病院看護部の人事
 ~ | 交流に関する実態調査し、結果を参考に運用を検討（18大学に協力依
 ~ | 頼し13大学から回答）

<主な調査結果>

大学と病院看護部の人事交流



人事交流の形態（複数回答有）



令和2年 9月 | ・国公立大学における大学（保健学科・看護学科）と病院看護部の人事
 ~ | 交流に関する実態調査結果を協力の得られた13大学に送付

令和3年 1月 | ・「看護学科教員と看護部看護職の教育人事交流～兼務編～」の運用手順等
 ~ | の承認を得、令和3年度より運用とするが、COVID-19感染状況から教育人
 ~ | 事交流の申請時期を延長し、令和3年10月開始に変更

4) 地域看護職支援部門

(1) ニーズ調査を踏まえた地域看護職支援の企画・実践

令和2年 6月	・「訪問看護事業所における看護職の連携に関するニーズ調査」の分析開始
令和3年 1月	・「訪問看護事業所における看護職の連携に関するニーズ調査報告書」が完成 ・調査結果より学内と訪問看護事業所の双方向性で、セミナーや事例検討会の企画検討
令和3年 3月	・「訪問看護事業所における看護職の連携に関するニーズ調査報告書」を調査協力の得られた73訪問看護事業所に送付



(2) 地域の保健師・助産師育成支援

令和3年 3月 ・助産師セミナー&交流会 3月10日(水)
(看護学講座 母性看護学・助産学領域主催、センター共催)



セミナー「国際協力と助産～アフリカでの経験から～」
交流会「助産師選択を考えている在校生と卒業生の交流会」

COVID-19 感染対策からオンライン開催 (Zoom)
対象 看護学科学生、当学卒業の助産師
参加者 セミナー45名、交流会41名

・保健師卒業セミナー 3月15日(月)
(看護学講座 公衆衛生看護学領域主催、センター共催)



報告会「保健師コースの演習・実習の実際」
シンポジウム「1年目保健師の体験」
COVID-19 感染対策からオンライン開催 (Zoom)
対象 看護学科学生、当学卒業の保健師
参加者 47名

2. 令和3年度

1) 教育プログラム開発部門

(1) 臨床実習指導者研修プログラムの再構築と実習指導者養成

令和3年 4月	・実習指導者研修基礎コースを学外看護職も対象とし、生涯教育講座としてハイブリッド開催を企画。実践コースは基礎看護学実習と成人看護学実習の選択形式とする。基礎コース各回終了後、研修者に研修動画を公開。
令和3年 7月	・実習指導者研修基礎コース第1回 7月3日(土)開催
令和3年 8月	・実習指導者研修基礎コース第2回 8月7日(土)開催
令和3年 9月	・実習指導者研修基礎コース第3回 9月25日(土)開催
令和3年10月	・実習指導者研修実践コース(基礎看護学実習Ⅱ) 10月27日(水)・28日(木)開催
令和4年 1月	・実習指導者研修実践コース(成人看護学実習Ⅰ・Ⅲ) 1月27日(木)開催

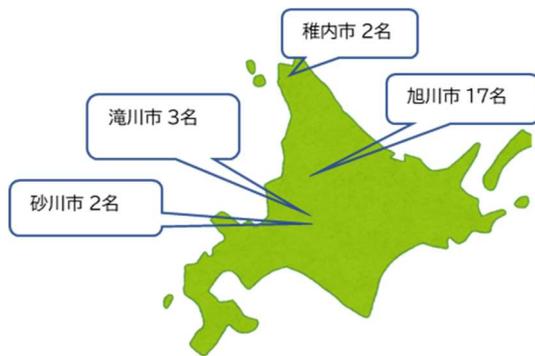
<実習指導者研修実績>

修了者数 基礎コース41名(学内20名、学外21名) 実践コース7名

<実習指導者研修内容と講師>

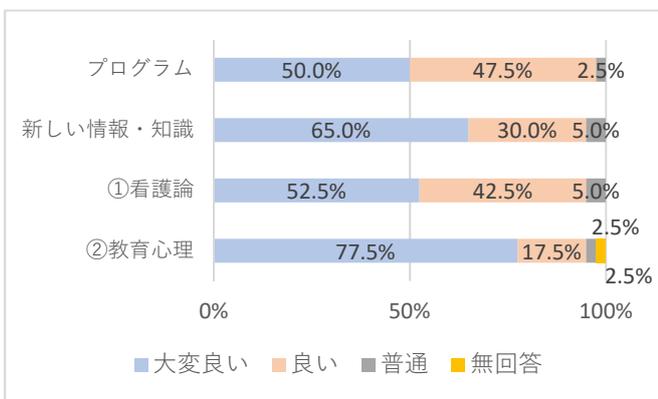
コース名	科目	主な内容	講師名	
基礎コース (講義)	第1回	看護論	看護の概念	升田由美子教授
		教育心理	看護学生の理解と関わり方	
	第2回	看護教育課程	カリキュラムと実習指導の位置づけ	阿部修子教授
		教育方法	コミュニケーション	長谷川博亮教授
	第3回	実習指導の原理	看護基礎教育における実習指導の意義と実習指導方法、指導者と教員の役割	阿部修子教授
		看護過程	看護過程	升田由美子教授
実習指導の評価		評価の意義、カンファレンスの意味		
実践コース	基礎看護学 実習Ⅱ	実習指導の実際	実習見学	升田由美子教授
	成人看護学 実習Ⅰ・Ⅲ	実習指導の実際	実習見学	阿部修子教授
				山口希美助教 松田奈緒美助教

<学外研修者 施設所在地>

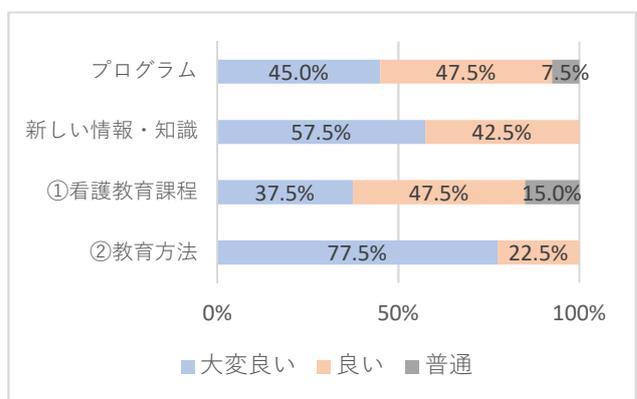


<プログラム・講義のアンケート結果>

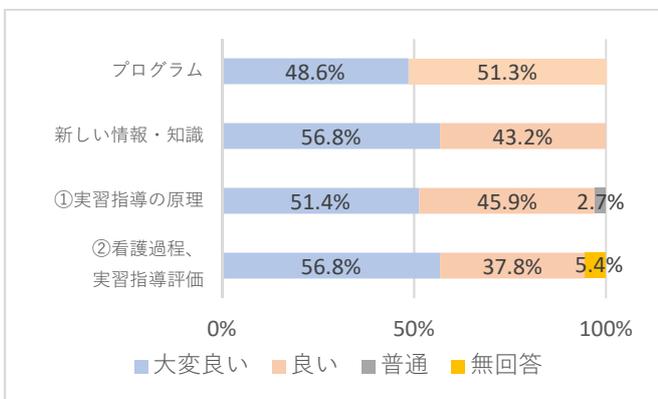
基礎コース第1回



基礎コース第2回

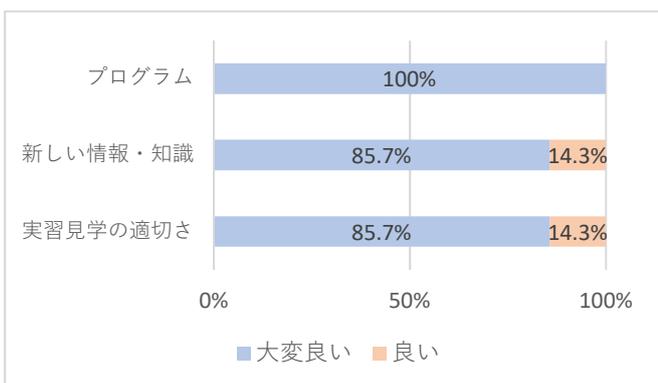


基礎コース第3回



基礎コース 学外者との学びの共有の様子

実践コース



実践コース カンファレンスの様子

(2) ～国際化～外国人患者に対応できる人材育成

令和3年 8月

・旭川医科大学基金支援事業 地域医療支援事業にニーズ調査を応募し、9月採択された。

令和3年 9月

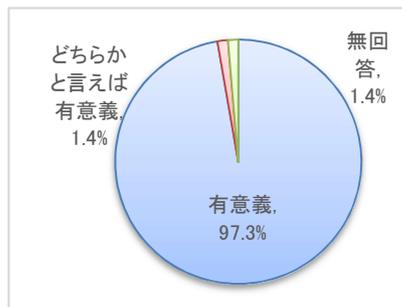
・第1回 外国人患者対応能力向上に向けた講演会 9月6日(月)



「当院の医療通訳としての実践」

講師 医療支援課 医療通訳 林 羿汎 係員
 対象 大学・病院教職員、学生
 ハイブリッド開催し、参加者数92名

アンケート結果



令和3年 12月

・旭川市内の5基幹病院へ外国人患者受け入れに関する実態、対応の現状と教育ニーズに関する調査依頼を送付し、協力を得る。

令和4年 2月

・協力を得た基幹病院の看護職に「外国人患者とその家族への対応の現状とニーズ調査」用紙を送付。137部回収する(回収率36.8%)。

令和4年 3月

・第2回 外国人患者対応能力向上に向けた講演会 3月1日(火)



「後発開発途上国で生きる人々への医療活動」

講師 看護学講座 母性看護学・助産学領域
 杉山 結理 助教
 対象 大学・病院職員、学生
 旭川市内の病院看護職
 ハイブリッド開催し、参加者数50名(学外4名)

2) キャリア支援部門

(1) キャリア支援に関する研修、学生と看護職のセミナー

令和3年 4月 ・初年次セミナー「看護の世界」(二輪草センター共催) 4月22日(木)
 講師 旭川市保健所 池田真由美 保健師
 旭川医科大学病院 出村 唯 助産師
 旭川医科大学病院 岩間 千草 看護師
 対象 看護学科1学年

令和3年 7月 ・学生と看護職のセミナー(二輪草センター共催) 7月6日(火)



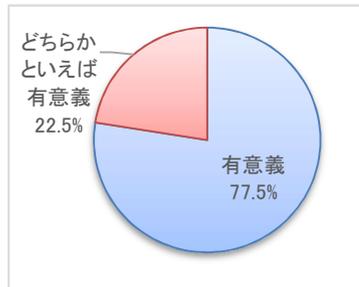
「自然の中から絵本ができた」

講師 絵本作家 あべ 弘士 氏

対象 大学・病院教職員、学生

ハイブリッド開催し、参加者数40名

アンケート結果



令和3年 8月 ・学生への配慮に関する研修会 8月3日(火)



「大学生のメンタルヘルス

～心のSOSを受け止めるために～

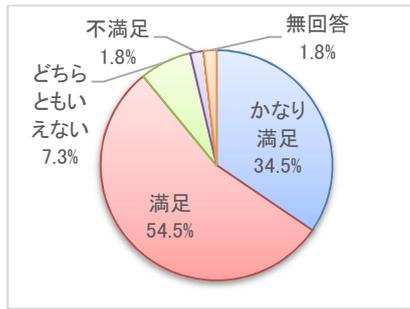
講師 看護学講座 精神看護学領域

長谷川 博亮 教授

対象 大学・病院教職員

ハイブリッド開催し、参加者数59名

アンケート結果



令和3年 9月

・キャリアデザインセミナー（当大学病院看護部共催） 9月14日(火)



「コロナ禍を経て自己を見つめなおす

キャリアデザイン～ピンチをチャンスに！～」

講師 Liezo カウンセリング&コンサルティング

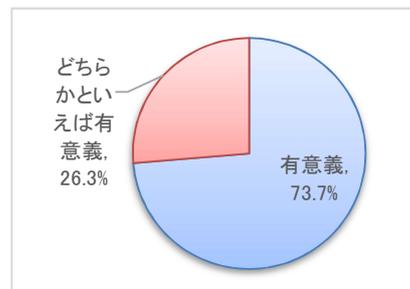
代表 中川 貴美子 氏

対象 看護学科学生、看護学科教員、看護部看護職

学外の看護職・看護教員

ハイブリッド開催し、参加者数26名（学外6名）

アンケート結果



令和3年12月

・教育・指導者の学生への配慮スキルアップセミナー 12月13日(月)
(教育センターFD・授業評価部門共催)



「大学生におけるこころの危機と支援」

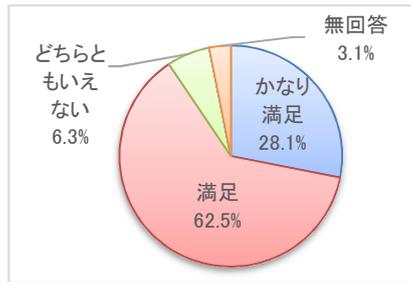
講師 北海道大学 学生相談総合センター

学生相談室室長 藤岡 大輔 氏

対象 大学・病院教職員

ハイブリッド開催し、参加者数59名

アンケート結果



(2) 看護研究とキャリアに関する相談窓口

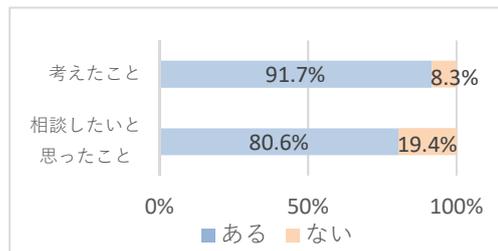
令和3年 9月

・「看護研究とキャリアに関する相談窓口」の相談対象者にアンケートを配布し、看護学科教員・看護部看護職375名（回収率49.3%）、看護学科学生36名（回収率14.8%）から回答を得る

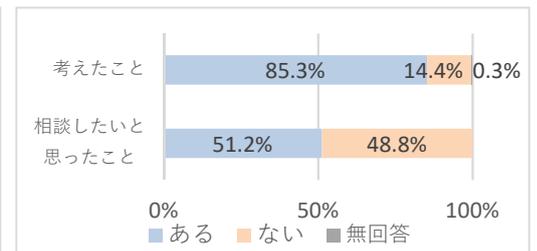
<主なアンケート結果>

①キャリアについて

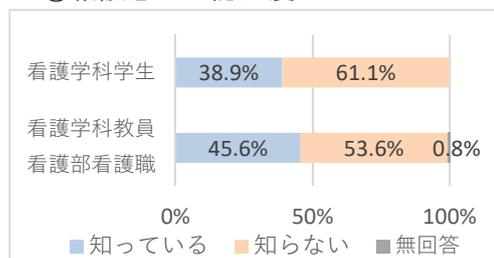
看護学科学生



看護学科教員・看護部看護職



②相談窓口の認知度



令和4年 3月

・相談窓口ホームページ・リーフレットをリニューアルする



3) 人事交流部門

(1) 臨床看護師の学内特別講師選出システムの構築

令和3年 4月 | ・令和2年2月から開始した運用を定期的に評価し、修正を実施
～ | 看護学科と看護部の共通システムとして運用

<令和3年度 看護部学内特別講師活動実績>

学内特別講師数：239名（学科講師45名、大学院講師2名）

学内特別講師による授業科目数：29科目（学科27科目、大学院2科目）

学内特別講師講義の様子



実習における臨床講義

(2) 教育人事交流～看護学科教員と看護部看護職の看護実践力・教育力向上システムの構築～

令和3年 7月 | ・教育研究評議会で教育人事交流者（看護学科教員1名、看護部看護職1名）の承認を受ける

令和3年10月 | ・看護学科教員1名が大学病院5階西ナースステーションでの教育人事交流を令和4年3月までの予定で開始



受け入れ部署と関係者との初顔合わせ



看護学科教員教育人事交流の様子

令和3年11月

・看護部看護職1名が看護学講座成人看護学領域での教育人事交流を令和4年3月までの予定で開始



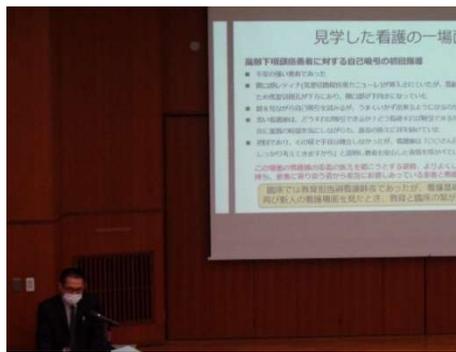
看護部看護職教育人事交流 実習ガイダンスでの様子

令和4年 3月

・教育人事交流報告会 3月15日(火)



報告者 看護学講座 高齢者看護学領域
野中 雅人 助教
看護部 ICUナースステーション
滝本 梨奈 看護師
ハイブリッド開催し、参加者数32名



4) 地域看護職支援部門

(1) ニーズ調査を踏まえた地域看護職支援の企画・実践

令和3年 4月

・セミナーを「地域を紡ぐかんかんセミナー ～はじめよう、つなげよう
 北海道スタイルを創る看護～」とし、訪問看護事業所で勤務する看護
 職と看護部看護職を対象に3回/年企画

令和3年 8月

・第1回地域を紡ぐかんかんセミナー(二輪草センター共催) 8月5日(木)



ミニレクチャー「在宅での感染対策のポイント」
 講師 感染管理認定看護師 石上 香 看護師長
 リレートーク「新型コロナ禍での看護を語る」
 ハイブリッド開催し、参加者数28名(14訪問看護
 事業所18名・看護部看護職10名)

・日本看護研究学会 北海道地方会学術集会 8月28日(土)
 「北海道で活動する訪問看護師の訪問看護実践能力向上における連携
 ニーズの実態調査」 山内 まゆみ 報告

令和3年 11月

・第2回地域を紡ぐかんかんセミナー 11月19日(金)
 「住み慣れた家で最期まで望む暮らしの実現に向けて」



ミニレクチャー「アドバンス・ケア・プランニング
 人生の大切な話し合いを始める」
 講師 がん看護専門看護師 尾崎 靖子 看護師長
 事例検討「患者の望む暮らしのために病院・
 訪問看護でできることは何か」
 オンライン開催し、参加者数31名(9訪問看護事
 業所17名・保健所1名・看護学科教員1名・
 看護部看護職12名)

・北海道看護研究学会 11月20日(土)
 「訪問看護事業所における大学・大学病院との連携とニーズの実態」
 井戸川 みどり 報告

令和4年 3月

・ 第3回地域を紡ぐかかんセミナー 3月22日(火)

COVID-19 感染状況から2月4日より延期し開催

「住み慣れた家で最期まで望む暮らしの実現に向けて Part II」



ミニレクチャー「終末期せん妄のケア」

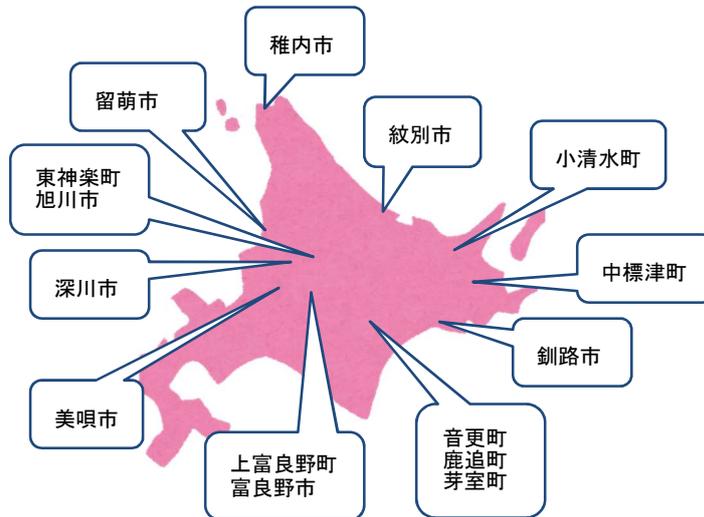
講師 がん看護専門看護師 清水 知沙

事例検討「残された時間の過ごし方

～本人と家族の思いが異なるとき～

オンライン開催し、参加者数23名（9訪問看護事業所13名・看護部看護職10名）

<第1～3回地域を紡ぐかかんセミナー 学外参加事業所等の所在地>



<第1～3回地域を紡ぐかかんセミナーの実際>



事例検討の様子



(2) 地域の保健師・助産師育成支援

令和4年 3月

・助産師セミナー&交流会 3月9日(水)

(看護学講座 母性看護学・助産学領域主催、センター共催)



セミナー「初心者向け！

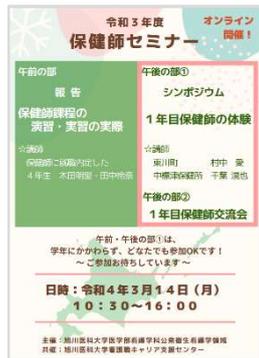
超音波診断機器レクチャーセミナー」

交流会「助産師選択を考えている在校生と卒業生の交流会」

COVID-19 感染対策からハイブリッド開催
対象 看護学科学生、当学卒業の助産師
参加者 44名

・保健師セミナー 3月14日(月)

(看護学講座 公衆衛生看護学領域主催、センター共催)



報告「保健師課程の演習・実習の実際」
シンポジウム「1年目保健師の体験」

COVID-19 感染対策からハイブリッド開催
対象 看護学科学生、当学卒業の保健師
参加者 60名

看護職キャリア支援センター 事業報告書
令和4年3月発行

国立大学法人 旭川医科大学
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

